決算特別委員会組織会会議録

令和八年九月一日　　開会　午前十一時二十一分

○事務局長（木村文徳君）

お疲れのところ申し訳ありませんが、よろしくお願いいたします。

先ほど決算特別委員会が設置されましたので、委員長・副委員長の互選を行いますが、委員会条例第十条第二項の規定により、年長の委員が委員長互選の職務を行うことになっております。

年長委員の浅利直志委員に委員長互選の職務をお願いいたします。

浅利直志委員、委員長席にお着き願います。

（年長の浅利直志委員、委員長席へ着く）

○臨時委員長（浅利直志君）

委員会条例第十条第二項の規定により、委員長が互選されるまでの間、委員長の職務を行いますので、よろしくお願いいたします。

只今の出席委員数は、十二名です。

定足数に達しておりますので、只今から決算特別委員会を開会いたします。

これより、委員長の互選を行います。委員長の互選の方法について、お諮りいたします。

委員長の互選方法は、投票、指名推選のいずれの方法で行いますか。三上委員。

○三上道人委員

指名推選でお願いします。

○臨時委員長（浅利直志君）

只今、指名推選の声がありました。指名推選で行うことにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。よって、選挙の方法は指名推選で行うことに決定いたしました。

それでは、どなたか推薦をお願いいたします。三上委員。

○三上道人委員

相坂清志委員を推薦いたします。

○臨時委員長（浅利直志君）

只今、三上委員より相坂清志委員を委員長に指名推選する発言がありましたが、この指名について、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。よって、相坂清志委員が委員長に当選されました。

相坂委員長、登壇のうえ、ご挨拶をお願いいたします。

○相坂清志委員長

只今、皆さまのご推挙いただき、決算特別委員会委員長に選任されました相坂清志であります。その重責に身の引き締まる思いであります。前年度の予算執行が適正であったかを検証し、今後の町の施策に活かしていく重要な役割を担っております。委員の皆さまの活発なご意見、またご審査をいただきながら、公平且つ円滑な委員会運営を努めてまいります。簡単ではございますが、就任のあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○臨時委員長（浅利直志君）

これで、私の職務は終了いたしました。委員の皆さん、ご協力ありがとうございました。

相坂委員長、委員長席にお着き願います。

○委員長（相坂清志君）

これより副委員長の互選を行います。副委員長の互選方法について、お諮りいたします。

副委員長の互選の方法は、投票、指名推選のいずれの方法で行いますか。奈良岡委員。

○奈良岡文英委員

指名推選でお願いします。

○委員長（相坂清志君）

只今、奈良岡委員より指名推選の発言がありましたが、指名推選で行うことにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。よって、選挙の方法は指名推選で行うことに決定いたしました。

それでは、どなたか推薦をお願いいたします。奈良岡委員。

○奈良岡文英委員

千葉孝蔵委員を推薦します。

○委員長（相坂清志君）

只今、奈良岡委員より千葉孝蔵委員を副委員長に指名推選する発言がありましたが、この指名についてご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。よって、千葉孝蔵委員が副委員長に当選されました。

千葉孝蔵副委員長、登壇のうえご挨拶をお願いいたします。

○副委員長（千葉孝蔵君）

只今、本特別委員会の副委員長を仰せつかりました町民クラブ千葉孝蔵でございます。委員長を補佐し、限られた期間の中で充実した審査が行われるよう、円滑な運営委員会を努めてまいります。皆さまの温か

いご指導とご協力をよろしくお願いいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長（相坂清志君）

以上をもって、本日の日程は終了いたしました。

本日は、これにて散会いたします。

ご苦労様でした。

散会　午前十一時二十九分